

－大学生のキャリア等に関する価値観について－  
2023年卒大学生

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：北村 吉弘）のより良い就職・採用の在り方を追求するための研究機関・就職みらい研究所（所長：栗田 貴祥）は、大学生の就職活動において、働く目的や望む働き方などを明らかにするため、就職活動を行っている2023年3月卒業予定の大学生を対象に調査を実施いたしました。このたび調査結果がまとまりましたので、一部を抜粋してご報告申し上げます。

【大学生のキャリア等に関する価値観について（2023年卒）】

- 2022年5月時点で就職志望者に、就職活動をする上で考えている（考えていた）働く目的と、自身が思う理想の働く目的を聞いたところ、働く目的は、「生活のため」が87.2%と最も高く、「余暇や趣味に投じるため」48.0%、「社会に貢献するため」33.2%が続く。
- 理想の働く目的を見ると、上位3項目は順番は違えども就職活動をする上で考えている（考えていた）目的と同様に、「社会に貢献するため」「余暇や趣味に投じるため」「生活のため」である。
- 卒業後の望む働き方について聞いたところ、「できれば新卒で入社した企業・組織団体等で、ずっと勤めたい」が62.2%と6割強で最も高く、次に「自分のキャリアを優先したりなど、転職もいとわない」が27.6%である。
- 何歳まで働きたいと考えているかを聞いたところ、「60～69歳」が48.8%と半数近くで最も高く、次いで「50～59歳」の26.5%である。

## 【目次】

調査概要	2
1) 働く目的について	3
2) 望む働き方、働きたい年齢について	4

## 【調査概要】

調査名：就職活動状況調査2023年卒

調査目的：就職活動中の大学生の「働く目的」や「望む働き方」などを把握する

調査対象：リクナビ2023(\*)会員より、2023年3月卒業予定の大学生 (\*リクナビ2023：株式会社リクルートが運営している、就職活動を支援するサイト)

調査期間：2022年4月30日～5月26日

調査方法：インターネット調査

調査内容：「働く目的」や「望む働き方」など

本レポート集計対象：就職志望の大学生 1,941人（文系1,433人 理系508人）

### 《調査結果を見る際の注意点》

○%を表示する際に小数点第2位で四捨五入しているため、%の合計が100%と一致しない場合がある。

○回答数が50人未満は、参考値としてご覧ください。

## リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人ひとりのライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、マッチング&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、60を超える国・地域で事業を展開しています。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここにはない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/> リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>

## 1) 働く目的について

2022年5月時点で就職志望者に、就職活動をする上で考えている（考えていた）働く目的と、自身が思う理想の働く目的を聞いたところ、働く目的は、「生活のため」が87.2%と最も高く、「余暇や趣味に投じるため」48.0%、「社会に貢献するため」33.2%が続く。

一方、理想の働く目的を見ると、上位3項目は順番は違えども就職活動をする上で考えている（考えていた）目的と同様に、「社会に貢献するため」「余暇や趣味に投じるため」「生活のため」である。

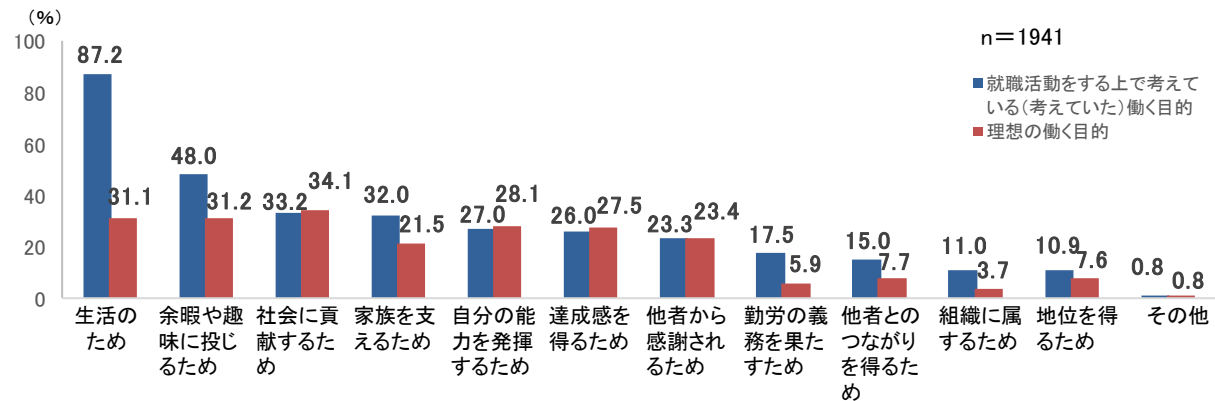
これらを文系・理系別で見る。

文系を見ると、働く目的について上位3項目は、「生活のため」「余暇や趣味に投じるため」「社会に貢献するため」で、理想の目的も上位3項目は同じである。

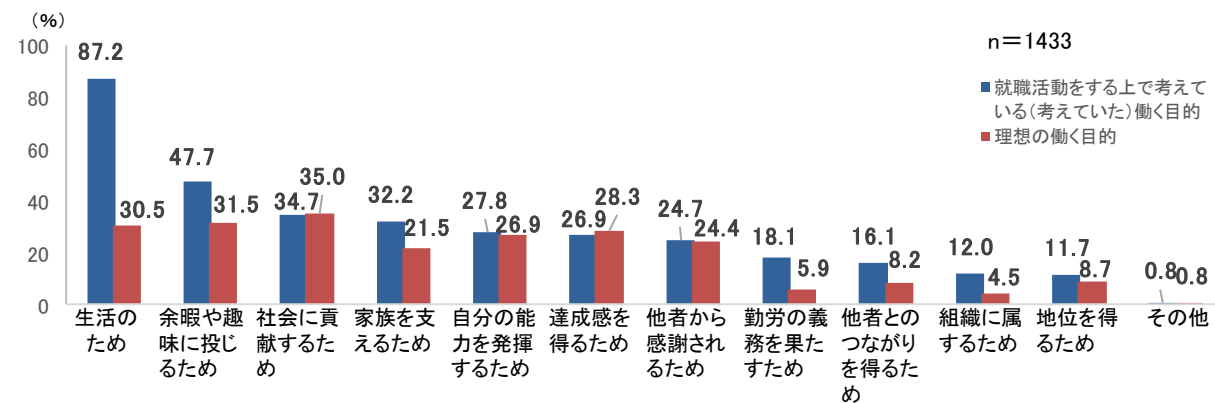
一方理系の働く目的の上位3項目を見ると、「生活のため」「余暇や趣味に投じるため」「家族を支えるため」であるが、理想の働く目的についての上位3項目を見ると、「生活のため」「社会に貢献のため」「自分の能力を発揮するため」である。

### ■就職活動をする上で考えている（考えていた）働く目的と、自身が思う理想の働く目的について（就職志望者／複数回答） ※グラフは、「全体」の「働く目的」で降順ソートしている

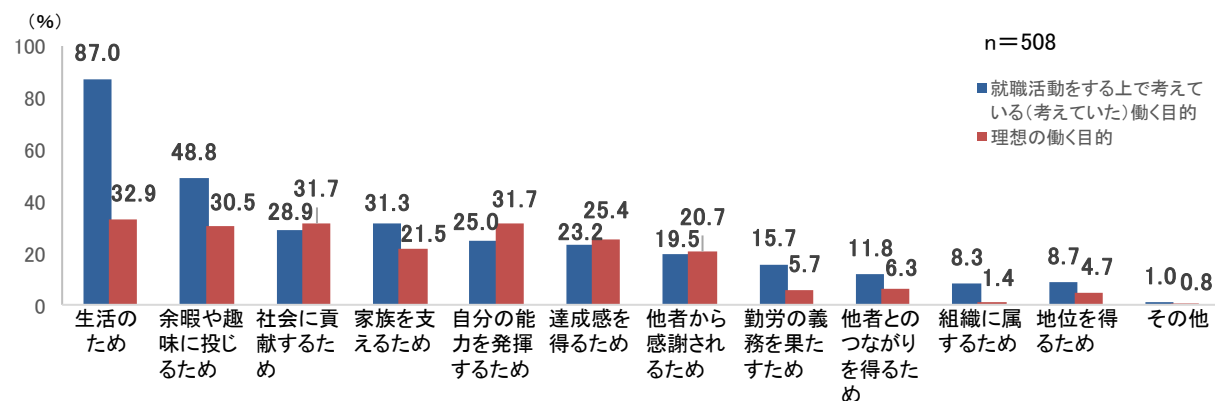
#### □全体



#### □文系



#### □理系



## 2) 望む働き方、働きたい年齢について

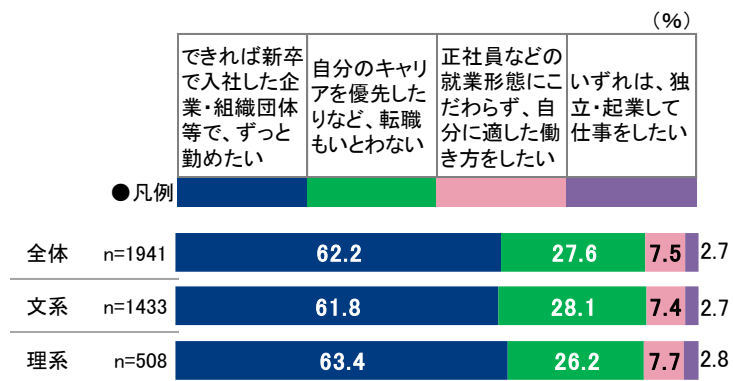
2022年5月時点で就職志望者に、卒業後の望む働き方について聞いたところ、「できれば新卒で入社した企業・組織団体等で、ずっと勤めたい」が62.2%と6割強で最も高く、次に「自分のキャリアを優先したりなど、転職もいとわない」が27.6%である。

文系・理系別で見ると、多少の数値は異なるが両者はほぼ同じで、「できれば新卒で入社した企業・組織団体等で、ずっと勤めたい」が6割台である。

何歳まで働きたいと考えているかを聞いたところ、「60～69歳」が48.8%と半数近くで最も高く、次いで「50～59歳」の26.5%である。

文系・理系別で見ると、両者ともに「60～69歳」が最も高く、次いで「50～59歳」である。

### ■望む働き方について（就職志望者／単一回答）



### ■働きたい年齢について（就職志望者／単一回答）

